

山梨学院大付初V

男子

1区 広末
2区 河野 誉

区間賞で勢い

35年ぶり8度目の優勝はならなかった。それでも2人が区間賞を奪うなど、11月の九州大会で出した県高校記録を24秒上回る好タイムで21年ぶりの2年連続入賞。横山美和監督は「優勝を予感させるレースだった。重庄の中で最低限の結果を残し、1区ではチーム52

年ぶりの区間賞をマークした。

2区の河野賞も続いた。前回故障で直前に

ハイライト

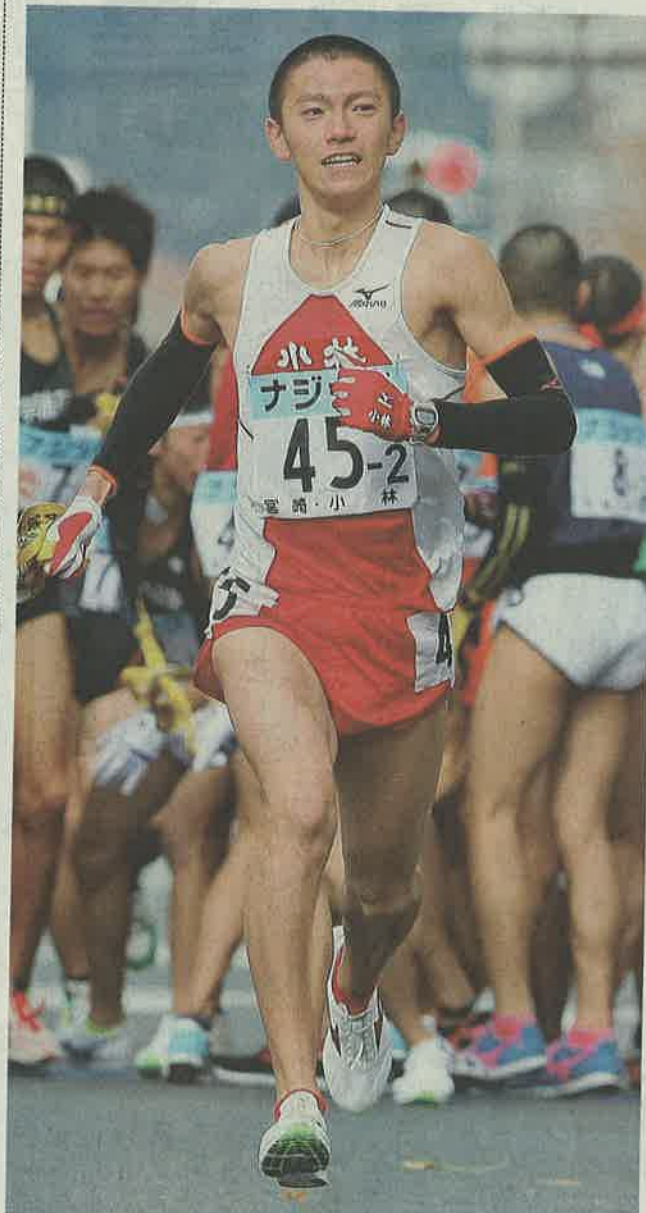
控えに回った3年生は、2位グループに一度は吸収されたが最後に抜け出す気迫の走り。3区の福

留大樹主将が2週間前に痛めた左すねの影響で積極的な走りをできなかったが、中盤以降の4人が粘り強く入賞を守り抜いた。

一方で、優勝した山梨学院大付は区間賞セロながら、全区間で安定した力を発揮した。準優勝した

た大牟田(福岡)には1区16位の出遅れを挽回するたくましさがあった。

「まだチームとしての力が足りない証拠。もっと競い合つて底上げを図り、優勝を確実に狙える集団を目指す」と店末。悲願の頂点に向け、気持ちを新たにした。(坂元穂高)



1区広末からトップでたすきを受け取って走り出す、小林の2区河野誉（中央）＝第1中継所

上田マサキ